



短歌

末武 有二 選

野の花をモチーフの湯飲み手に馴染む高遊窯
は幕下ろすとふ 安永 守住 孝子

捨てられず出して仕舞う衣更え思い切れぬは
良しや悪しきや 惣領 島田 廣子

始めよう喜寿の手習い遅くはないよまだまだ
やれる手話ダンス 馬水 増田 訓子

診療を待つ我が前を行き来する足音聞けば悲
しみを秘し 惣領 垣野 幸一

鯉のぼり自分で揚げるとロープ緑る五歳の孫
は凜々しくなった 木山 本田 龍子

朝まだき遠い森より時鳥声響かせて夏の訪れ
木山 赤城 香織

水田の水面に逆さ飯田山消してみよう稲苗植
えて 惣領 甲斐 道夫

ご近所で元気で泳ぐ鯉のぼり孫よ元気で大空
目指せ 惣領 新居 露子

病室のサッシを開き空見れば紺碧の青我が頬
に涙 広崎 大原 郁

病院の待合室は賑やかで小父さん達は皆な痛
いと 赤井 米澤 さわ

百余年我が友は達者ギネスの記録に挑んでい
るな 赤井 増岡 伸禧

※6月号の短歌において、守住孝子さんの首の内容の一部に誤
りがありました。おわびして訂正します。
【正】ひしめき下がる 【誤】ひきしめ下がる

俳句

ハウスには季節外れの花も咲く

ひんやりと素足に触れる夏の床

梅雨なかば紫陽花の花七変化

駆け出されグランドゴルフ夏の朝

新茶の香亡母の愛した湯呑かな

花豆の弾ける音を聞く夜かな

梅雨寒や菖蒲の花の玉の露

阿蘇の山野焼の原は黒頭巾

赤井	増岡	伸禧
古閑	今村	恒心
惣領	野宮	逸吉
木山	本田	龍子
鎌田	隆子	
惣領	中原	義一
赤井	永樹	みちこ
熊本市	境	眞木子

一句鑑賞

夏秋の花ある枝の長さかな

星野 立子

川柳

「お題」 自由詠

四賢婦人育てた母の名は「おつる」

砂かぶり時に行司も飛んでくる

空家の庭咲いて紫陽花一人ぼち

サア行こう身体は気持についてこん

「お題」 梅雨

梅雨晴間高校野球甲子園

保育園孫の送迎雨中

梅雨晴や急げ洗濯八十路です

雨に似合ふ紫陽花の葉にカタツムリ

木山	本田	龍子
赤井	増岡	酔粋
惣領	阪口	由美子
馬水	増田	訓子
古閑	今村	恒心
広崎	辻	恵美子
木山	鎌田	隆子
惣領	野々	口トミ子

次回のお題 「星祭り」

投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役場
広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。



益城の文化財
町文化財保護委員会

連載企画

益城の地名①
土地の名前

町にも「六本木」が存在すること
をご存じでしょうか。大字広崎に
は六本木という小字名があります。
土地には必ず「地名」が付けら
れています。町名や大字・小字
名、さらに地元の人しか知らない
ような「下名」を含めると、町には
1200超の地名が存在します。
地名がどんな理由で命名され、
どんな意味を持つのか、そんな疑
問を抱いたことはありませんか？
それに答えるにはまず、「地名
とは何なのか？」を理解する必要
があります。辞書によれば、地名
とは土地に命名されている固有名
詞で、地域住民の間で共有・共通
理解がされている名称を指します。
その命名方法には次のようなも
のがあります(町内の例)。

- ①土地の位置・新旧関係
上陳・下陳・市ノ後 など